

恒久平和の実現は 戦争の悲惨さ

平和の大切さを伝えること

8月6日、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式が広島市の平和記念公園で行われ、本市から市内公立中学校の生徒代表8人を含む13人の平和使節団が参列し、原爆が投下された午前8時15分に黙とうをささげました。



また、各中学校、女性団体連絡協議会、青年会議所市役所に来庁した方々そして市役所職員が、平和への願いを込めて折った千羽鶴(約2万羽)を公園内にある「原爆の子の像」にささげてきました。

問総務課(☎826・1111 内線2200)



土浦市地区長連合会 中台義保さん
平和使節団として、平和祈念式に参列させて頂けたことに感謝いたします。

広島は、平成21年8月6日、64回目の原爆忌を迎え、区の平和記念公園で平和記念式典が行われ、各都道府県の遺族代表や麻生首相、市民ら約5万人が参列しました。式典は慰霊の曲が流れる中、午前8時に始まり、遺族代表や麻生首相、国連総会のミゲル・デス・コト議長、マレーシアのマハテール元首相のほか59か国の代表らが次々と献花をし、原爆が投下された午前8時15分、平和の鐘を打ち鳴らし参列者全員が1分間の黙とうを捧げました。原爆の惨禍を忘れず過ちが再び繰り返されないよう願い核兵器のない世界の実現を目指し、平和な社会にしたいと思えます。

前日平和記念資料館を見学し、原爆による熱線で灰と

化した少年、爆風により眼球が飛び出している死体、顔が焼けただれておしるの上で寝かされた状態の女学生、被爆地の姿をこどものた現在原爆ドームと呼ばれる廃墟となった広島県産業奨励館などパネルの中には被爆直後の悲惨なまちの様子と被爆者自身が描いた絵、非核平和を訴える運動を紹介する展示もあり、見る者に原爆の凄まじさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを語りかけています。未だ、原爆症で苦しんでいる多くの方々を思うとき戦争と核兵器の廃絶への願いを一層強く感じるでしょう。太平洋のピキー環礁で行われた米国の水爆実験で焼津港のマグロ漁船「第五福竜丸」が被爆してから55年、オバマ米大統領が核兵器の廃絶を最終目標とする包括戦略を発表するなど核を取り巻く環境は各国の思惑が交錯し依然厳しい状況が続いている。しかし、時を経て忘れてはならない原爆の記憶や核兵器に対する怒りは年々人の心から薄れていきます。だからこそ派遣された我々はこの貴重な体験をそれぞれの立場で語り伝えていくことが責務であると思えます。



土浦市女性団体連絡協議会
瀬尾ミチ子さん
この度、平和使節団の一員として記念式典に参加出来ましたことに深く感謝しております。日本国内及び世界各国の方が参加され、その多さに驚き平和を願う行動はさまざまであるが人それぞれの思いは、皆平和の大切さを感じるところです。

平和記念資料館に一步入るとローマ法王(ヨハネ・パウロ二世)の銅像があり、「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命を奪います。戦争は死そのものです。過去を振り返ることは、将来に対する責任をになうことです。」「広島を考えることは、核戦争を拒否することです。広島を考えることは、平和に対して責任を取ること

です」を記されておりあります。

原爆が投下され午前8時15分で止まった時計が展示され、被爆の恐ろしさを感じ、核廃絶を訴え続けていかなくてはならないと、平和記念公園で犠牲者のご冥福と黙とうを捧げることができ、命の尊さを新たに平和の大切さを願いながら語り伝えていきたいと思えます。



土浦青年会議所 香取秀総さん
平和使節団として、平和記念式典に参列させて頂いたことに感謝いたします。メディアなどを通して広島原爆

ドームを見る度に、戦争を身近に感じ得なかった自分にとって、これらは、ひとつの遺跡として見ていました。しかし、原爆が投下された8月6日午前8時15分に、投下された場所に身を置いて黙とうを捧げると、64年前のこの時に、この場に居た方々の思いを身をもって感じる事ができました。そして、戦争の悲惨さと憤り、平和の大切さを心から感じる事ができました。私たち青年会議所の母体となる国際青年会議所の創始者は、すべての人々にとってよりよい平和な世界をという素晴らしい思いを抱いてまいりました。私たち土浦青年会議所もその思いを受け継ぎ、平和な社会となるよう地域のリーダーとして、活動して参りたいと感じました。

We have the power. We have the responsibility.
And we are the Obamajority.
Together, we can abolish nuclear weapons. Yes, we can.
平和宣言にて 2009年8月6日 広島市長秋葉忠利



土浦四中 教諭 藤田雅久さん
8月6日、午前8時15分。原爆死没者に対して黙とうを捧げた。目をつぶると平和の鐘の音とともに、蝉の声がしきりと聞こえてきた。黙とうを終え、原爆死没者慰霊碑の先に目を向けると、そこには、原爆ドームが当時の様子を語るかのようにたたずんでいる。

64年前のこの瞬間、自分がいるこの場所はどんな惨状だったか…。人間の皮膚や金属を溶かすほどの熱線、建

造物さえ吹き飛ばす爆風…。一瞬にしてどれだけ多くの命が奪われたか、どれだけ多くの人が苦しみをかかえて亡くなっていったか。当時のことを考えると涙が溢れそうになった。何ごともなくこの場にいられる自分が不思議に感じられ、戦争のない日本に生まれてきた幸せを実感した。

今回、ヒロシマを訪れたことは、私の貴重な財産になりました。ヒロシマで感じ、学んだことは、生徒たちに伝えていきたいと思っています。平和使節団に参加させていただいたことを心より感謝申し上げます。今後も平和使節団が継続され、一人でも多くの中学生が平和や戦争について考え、学んでくれることを願っております。



土浦一中 2年 窪田沙由樹さん
私が、平和使節団として広島に3日間派遣されて心に残ったことは、灯籠流しに参加したこと。

灯籠流しには、広島市民の皆さんや全国各地、世界各地から広島に来た人たちが、灯籠に自分の思いをこめて、絵や言葉を書いていました。

5、6歳の女の子が灯籠にこんな言葉を書いていました。『世界が平和になってほしい』この言葉を見て「小さな子どもでも平和を願っているんだ」と思いびっくりしました。

この3日間、広島で学んだことは、学校のものにもしっかりと伝えたいと思います。



土浦二中 2年 小林凜乃さん
今、私は生きている。これは、とても幸せなこと、そして、64年前の広島県民全員が願ったことです。今回の体験をおして、原爆の残酷さ、悲しさが自分のことのように伝わってきました。

広島で会った方は「今の子は、本当の原爆を知らない」とおっしゃっていました。

平和使節団の一員として、ほかの人より少しだけ原爆を知った私は、このことを誰一人として忘れないように、

責任をもって伝えていきたいです。大変貴重な体験でした。



土浦三中 3年 清水優果さん
私は、今回平和使節団に参加して思ったことがあります。それは、広島平和記念式典は世界中から注目されているのだということです。観光目的で来た外国人や国連の人までさまざまな人がいました。

平和な世界を目指すことは、世界共通の願いであり、目標であるのだと思いました。そして、広島市民の平和への思いをその土地で感じられたことが私にとって良かったです。今まで、テレビでしか情報が入ってこなかったのが、広島地に行き、地元の人々の思いがすぐ伝わってきたので原爆の怖さについてよく分かりました。私は、これからこの経験を、いろいろな人に伝えていきたいと思っています。



土浦四中 2年 矢口詩織さん
初めて広島に来て、その発展ぶりにも驚きました。64年前に原爆が落ちたとは考えられません。ですが、街や人々の心には原爆の傷あとがくっきりと残っています。

被爆者の傷をいやすには、戦争経験のない私たちが行動を起こす必要があると考えます。だから、まず原爆について知り「平和な世界をつくる」という強い気持ちを持つことが大切だと思います。そして誰もが笑顔で暮らせる、そんな世界をつくっていききたいです。



土浦五中 2年 福島末江さん
私は、8月5日と6日の2日間です。思ったことが2つあります。1つ目は、本当にこの空から、あの恐ろしい原爆がおちたのか、ということ。最初に、原爆ドームの近くまで来て、とてもいい天気です。最初、という感じがしました。あの、焼け野原がウソのようにも感じます。

2つ目は、どこを見ても外国人の人が多いということです。原爆はアメリカが日本におとして、日本人だけが悲しんでいると思っていましたが、外国人の人がたくさんいて、アメリカの人たちも原爆を落としたことを忘れないようにしているのかと思いました。



土浦六中 2年 中原美来さん
私は、平和使節団の一員として、広島で貴重な体験をしました。平和記念式典に参加したり、原爆ドームを見たり、戦争の悲惨さがとても伝わりました。

一番印象に残っているのは、「原爆ドーム」です。思っていたよりもひどく「なぜこんなにむづかしい思い、悲しい思いをしなくてはいけないのか、戦争はいやだ」と私は改めて感じました。二度と戦争が起きないように、世界が平和でいられますように。



都和中 2年 内田成美さん
今回、この広島平和記念式典に参加して、最初に思ったことは、絶対に核兵器を使つてはいけない、作つてはいけないという思いでした。たった一発の爆弾で何万人の命がなくなってしまう殺人兵器は、とても恐ろしいものだ改めて感じました。

私は、この使節団に入って、とても貴重な体験ができたと思っていますが、この広島に「原爆が落ちた」ということは変わらないので、このことをいろいろな人に伝えなければならぬと思います。



新治中 1年 神林美穂さん
私は、この使節団に入って良かったと思えました。例えば、原爆ドームはテレビでしか見たことがなく、テレビで見たりも迫力があり、実際に見た方が戦争の恐ろしさがよく分かりました。このような体験ができ、本当に感謝しています。